

DRAFT®

会社説明資料

株式会社ドラフト
東証グロース：5070
2025年 2月



CONTENTS

01 COMPANY PROFILE

会社概要

02 MARKET ENVIRONMENT & OUR GROWTH POTENTIAL

市場環境と当社の成長性

03 FINANCIAL RESULTS & FORECAST

業績 & 見通し

04 SHAREHOLDERS RETURN

株主還元

05 CORPORATE GOVERNANCE

コーポレート・ガバナンス

06 IR SITE

IRサイト

01

COMPANY PROFILE

会社概要



会社名	株式会社ドラフト
設立	2008年4月1日
上場	東京証券取引所グロース市場（証券コード：5070）
資本金	807百万円
従業員数	205名（連結/2024年12月末現在）
連結子会社	2社（海外）
営業拠点	国内3拠点（東京・大阪・福岡）
事業内容	デザイン事業
決算期	12月31日

デザイナー / 創業者

山下 泰樹

Taiju Yamashita



1981年生まれ、東京都出身。2008年にDRAFT Inc.を設立。インテリア・建築のデザインを中心に都市から家具づくりまで幅広いフィールドで活躍するデザイナー・建築家。「空間は人を中心にデザインされるべき」という思想のもと、都市・建築・空間を再定義、再設計し続けている。Best of Year Awards、SBID Awardsなど多数受賞。

Taiju Yamashita

We are an Integrated Design Firm

DRAFTはデザインの力で世界にHAPPYの循環をつくり出し、社会に貢献することを目指すデザイン会社です。

ALL HAPPY
BY DESIGN

DRAFTの主なフィールドはインテリア・建築のデザインです。1枚のファブリック選びから都市計画に至るまで、幅広い活動領域でデザインを手掛けています。都市のシンボルから行動に影響を与えるソリューション作りまで、デザインを中心に世の中をより良くしていく会社です。

兼松

2022年 11月

KANEMATS

兼松

2022年 11月



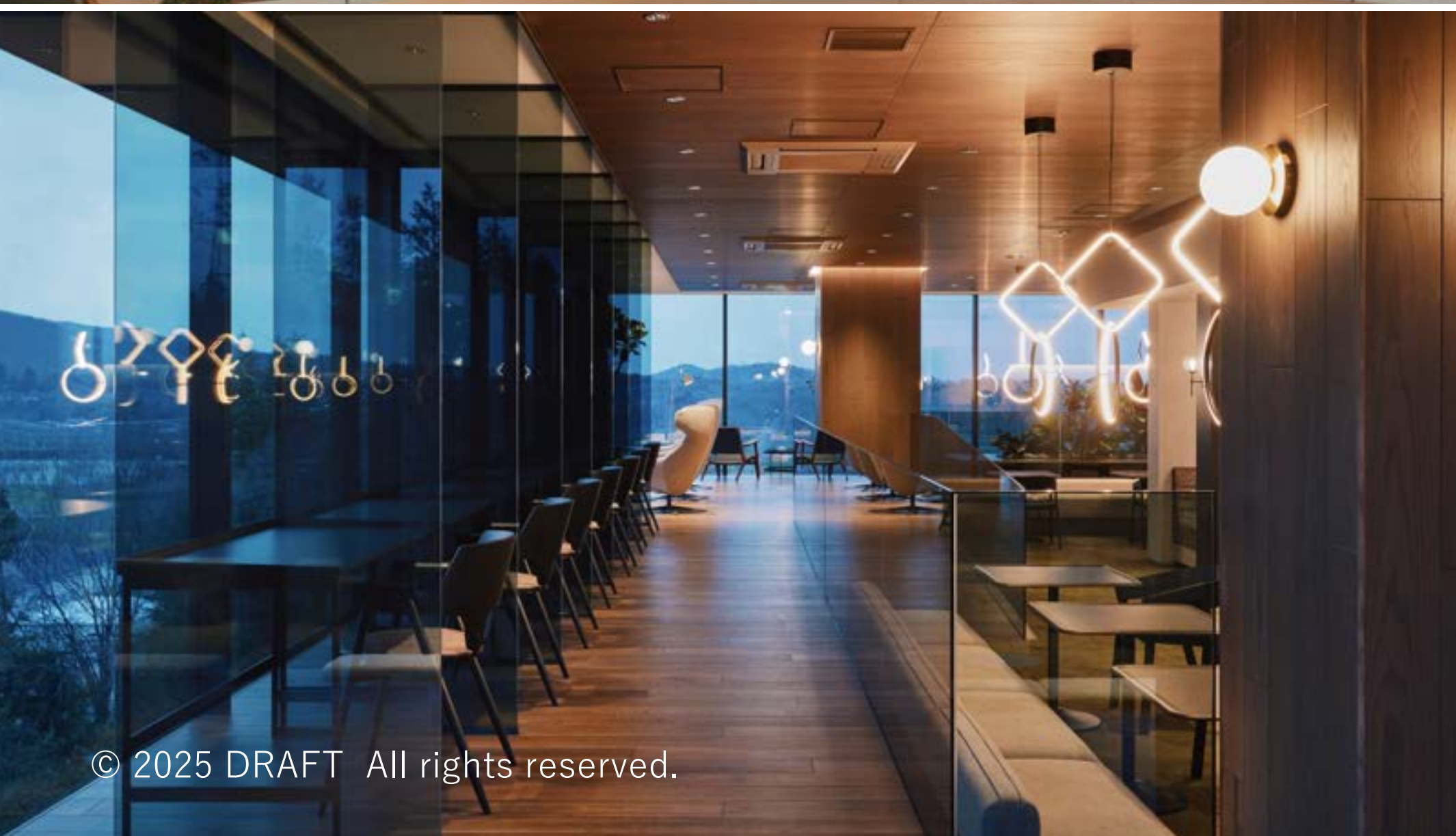
太陽インキ製造 InnoValley

2024年 3月



太陽インキ製造 InnoValley

2024年 3月

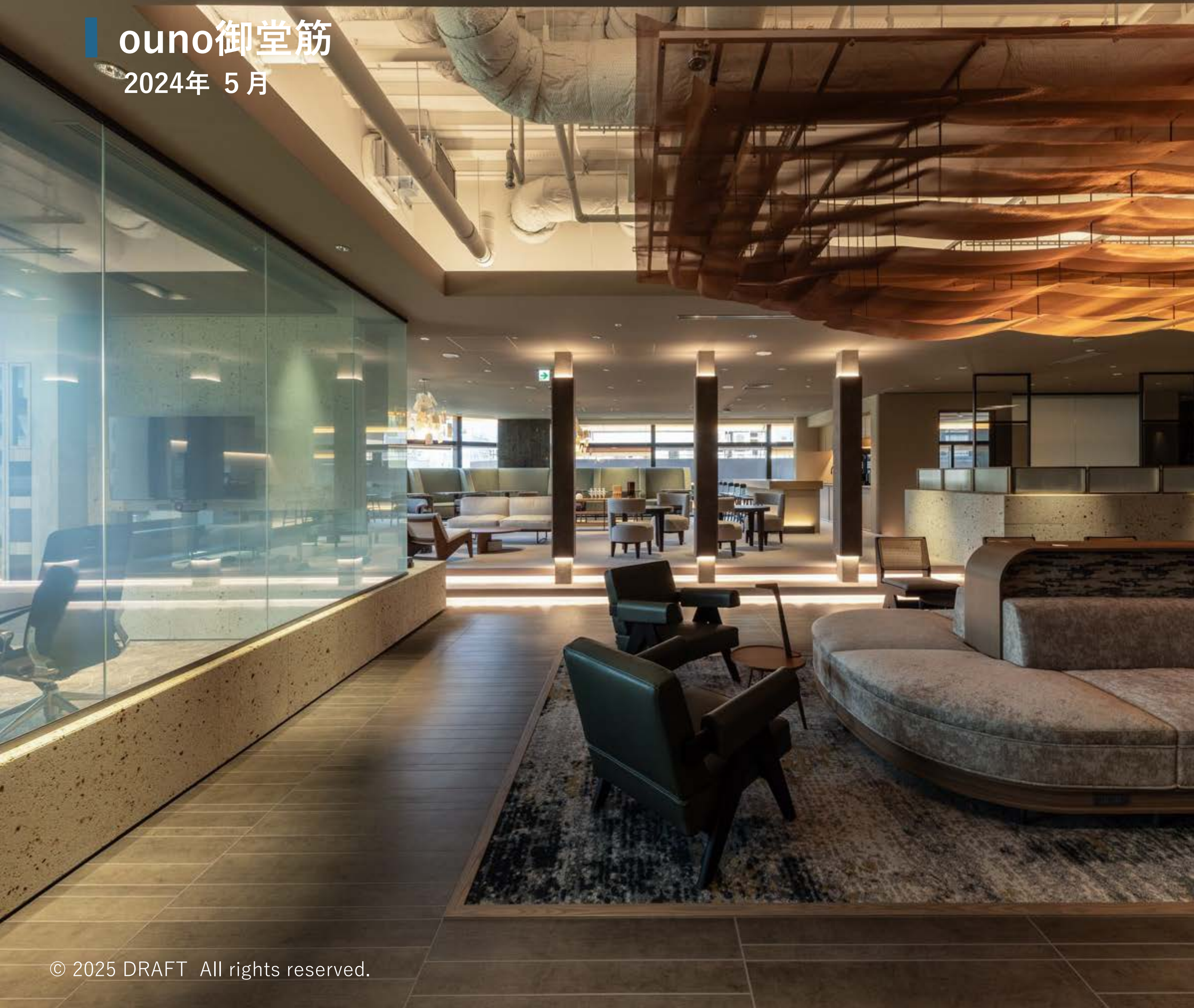


ouno御堂筋
2024年 5月



ouno御堂筋

2024年 5月



Salone del Mobile.Milano 2024 “Pointillisme”

2024年 4 月



No.15

2024年 10月 リリース



No.15
2024年 10月 リリース



■ WonW Chair

山下泰樹 × オリバー社の
コラボレーションチェア発表・
スペシャルセミナー登壇



WonW Chair

山下泰樹 × オリバー社の
コラボレーションチェア発表・
スペシャルセミナー登壇



■ 日比谷セントラルビル



日比谷セントラルビル



横浜ティンバーワーク



トリドルホールディングス

TORIDOLL →

TORIDOLL
welcoming ceremony & party
in *Handwritten*
2019
JINBEI HALL

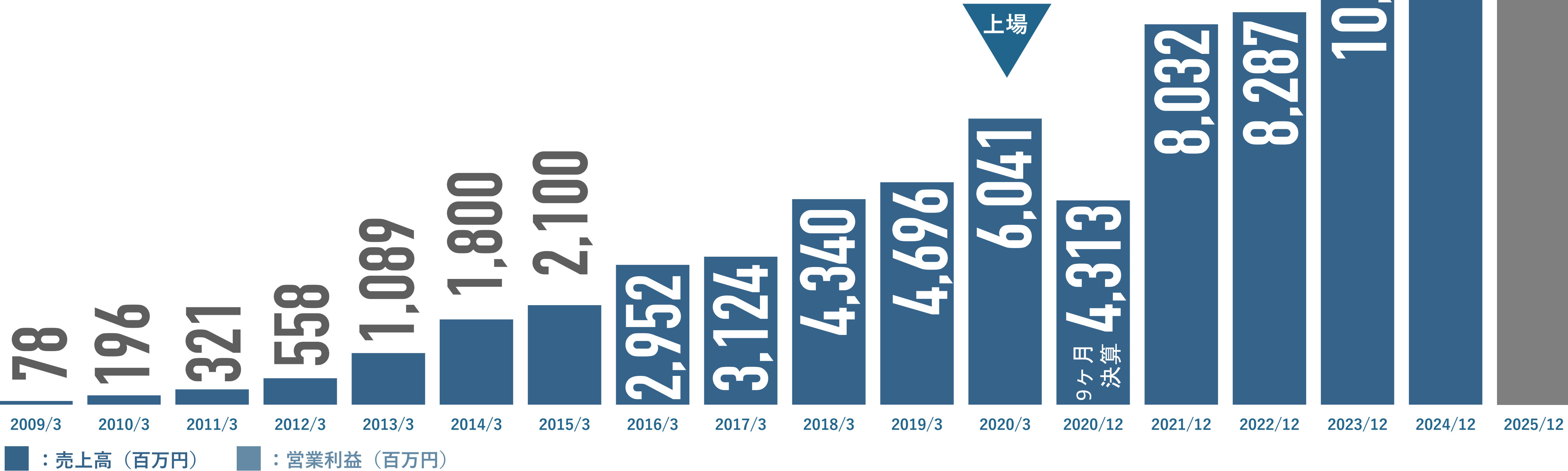
業績推移

2024年12月期売上高実績

12,276 百万円

2025年12月期売上高予想

→ 13,300 百万円



■ 株価推移（終値 / 分割ベース）



2025年2月25日時点

株価：550円

PER：8.54倍

PBR：1.36倍

時価総額：55億円

02

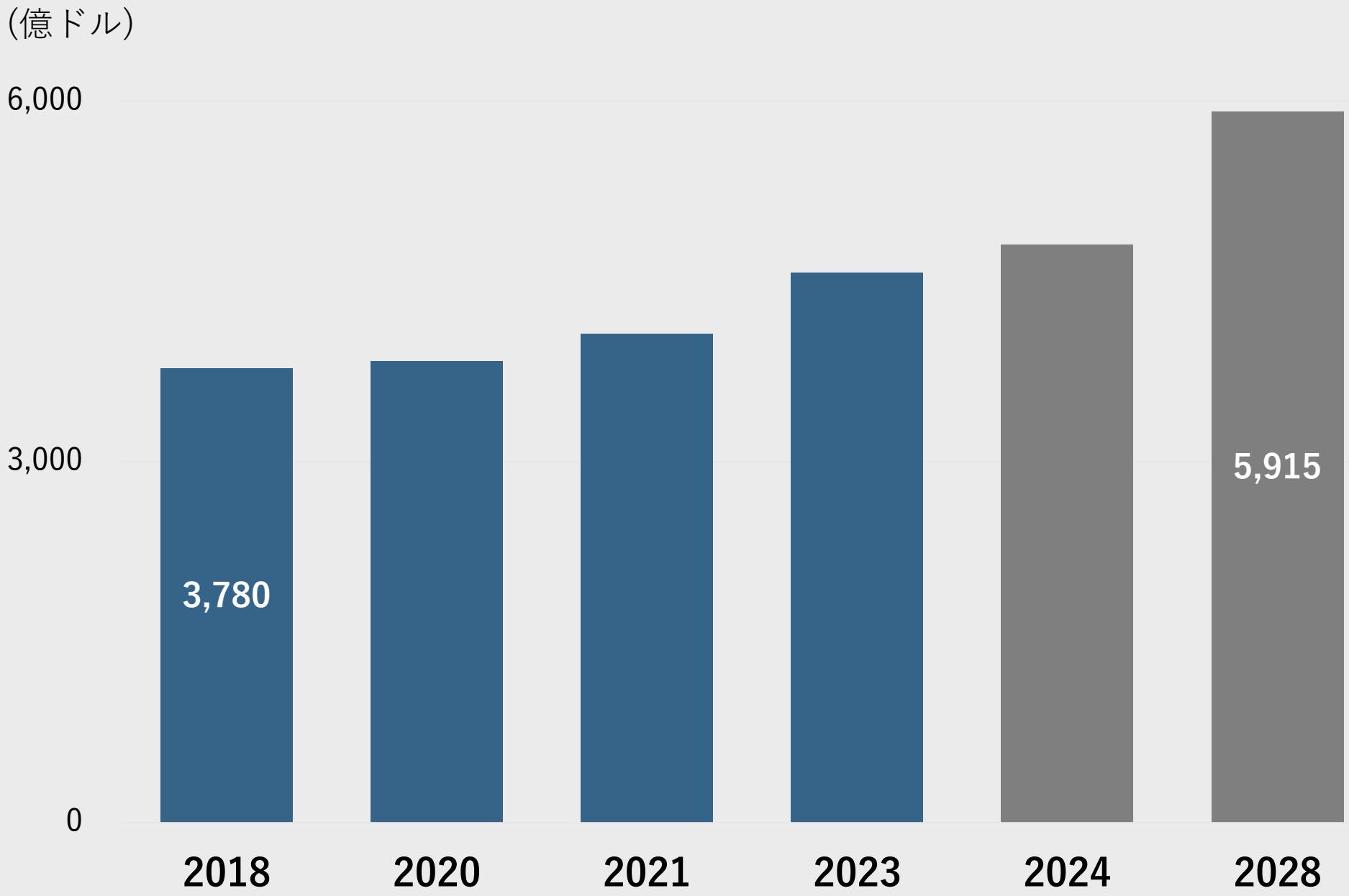
MARKET ENVIRONMENT & OUR GROWTH POTENTIAL

市場環境と当社の成長性

■ ビジネス環境（市場・競争）

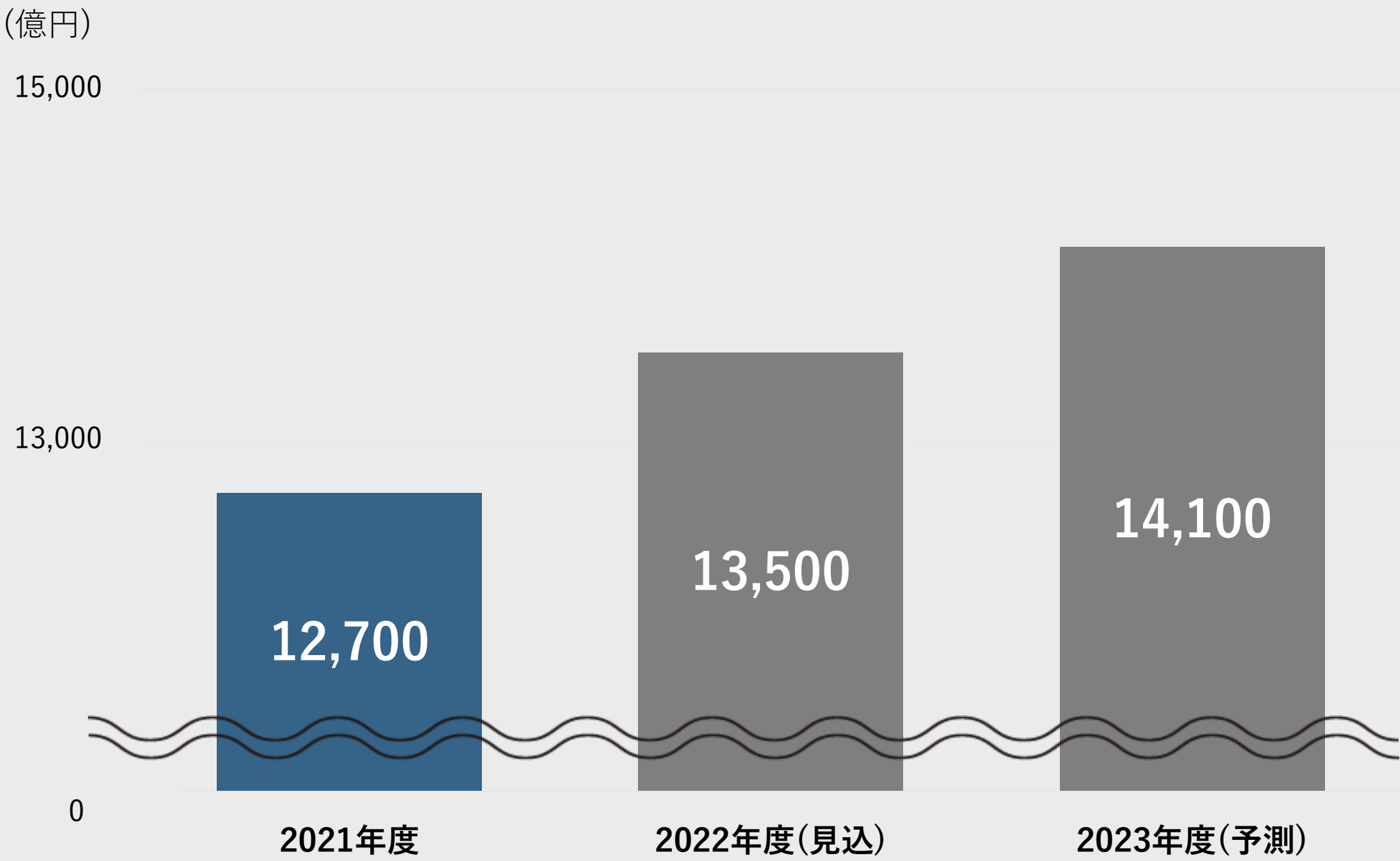
世界・国内ともにデザイン関連市場の規模は拡大の見通し

デザイン関連市場規模



出典：Business Research Company『Specialized Design Services Global Market Report 2024』

ディスプレイ業界市場規模推移



注1 事業者売上高ベース
注2 2022年度は見込値、2023年度以降予測値(2023年4月現在)

出典：株式会社矢野経済研究所「ディスプレイ業の市場展望と事業戦略2023年版」

アフターコロナ以降の社会

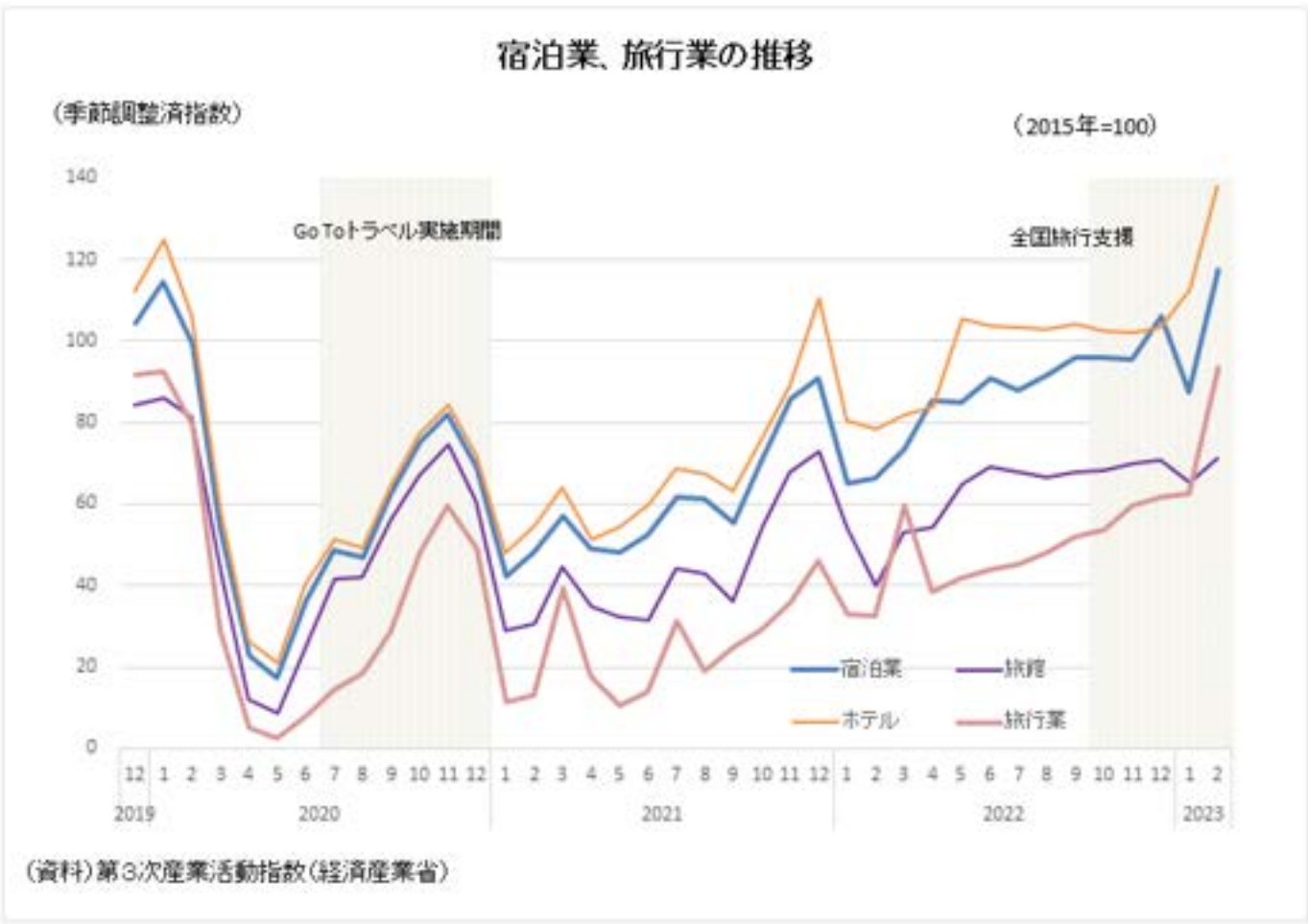
経済は順調に回復し、一時は途絶えた人流が復活。特に宿泊業・旅行業はコロナ前を上回る水準へ

経済産業省

宿泊業と旅行業はコロナ前を上回る水準まで回復

第3次産業活動指数から、宿泊業と旅行業についてコロナの影響がなかった2019年12月からの推移をみると、宿泊業は、2020年5月を底にして“Go Toトラベル”実施効果から回復しましたが、第3波の感染拡大期（2020年12月から2021年1月）とともに低下し、第3波収束以降は緩やかな上昇傾向を見せて、足下では2019年12月を13%上回る水準まで回復していますが、内訳となりますホテルに比べて旅館の回復の足取りが重い傾向にあります。

旅行業は、回復が遅れていましたが2022年10月に始まった“全国旅行支援”の効果などから2019年12月を2%上回る水準まで回復しています。



日本経済レポート

第1章 マクロ経済の動向

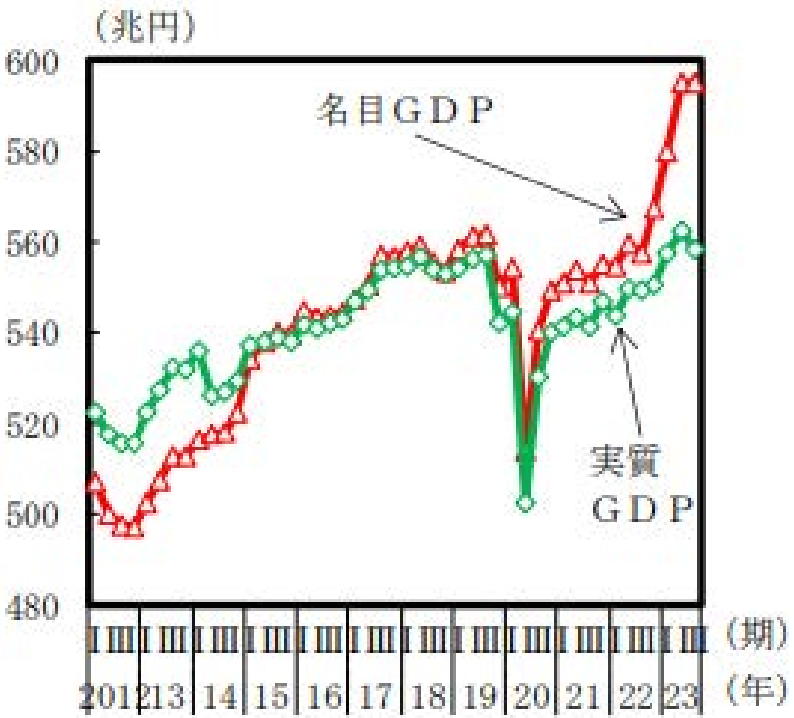
我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により2020年4－6月期を底として大幅に落ち込んだ後、感染症の再拡大やそれに伴う緊急事態宣言・まん延防止等重点措置等の影響により振れを伴いながらも、徐々に経済社会活動の正常化が進んだ。この間、2022年2月にはロシアによるウクライナ侵略があり、また米欧におけるコロナ禍からの回復もあって、世界的な物価上昇が生じ、我が国においても40年ぶりの物価上昇などマクロ経済環境の大きな変化が生じた。2023年5月には、新型コロナの感染症法上の位置付けが5類感染症に移行し、景気の自律的な循環を制約してきた要因は解消された¹。こうした中、春闘における30年ぶりの高い賃上げや企業の高い投資意欲など、我が国経済には前向きな動きがみられており、四半世紀の間達成し得なかったデフレからの脱却に向けた千載一遇のチャンスが到来している。

1 2023年の日本経済と先行き

（コロナ禍からの正常化により、景気は緩やかに回復し、GDPは過去最大に）

まず、我が国の国内総生産（GDP）の動きを確認する。物価変動の影響を除いた実質GDP成長率についてみると（第1－1－1図（1））、2023年1－3月期は、個人消費、設備投資など内需がバランスよく増加したことにより前期比でプラス成長となった。

GDPの推移



出典：経済産業省「アフターコロナの中で、どこまで回復したか-旅行・観光-」2023年5月12日

出典：日本経済レポート（2023年度）

2020年4月に新型コロナウイルス感染症の感染拡大に対する緊急事態宣言が発出されてから4年を経過。

2024年5月現在、経済活動は回復基調を見せている。

■ 宿泊施設事例

- NEST HOTEL HIROSHIMA STATION（2020年4月）

広島とのつながりを体現するホテル「ネストホテル広島駅前」が誕生



- MACHIYA RESIDENCE INN Kanazawa
Tatemachi Kanata / Hotori（2022年10月）

明治初期に建てられた趣ある建築を活かしながら、プライベートな宿
「町家レジデンスイン金沢 竪町 かなた・ほとり」に生まれ変わった



- UMITO

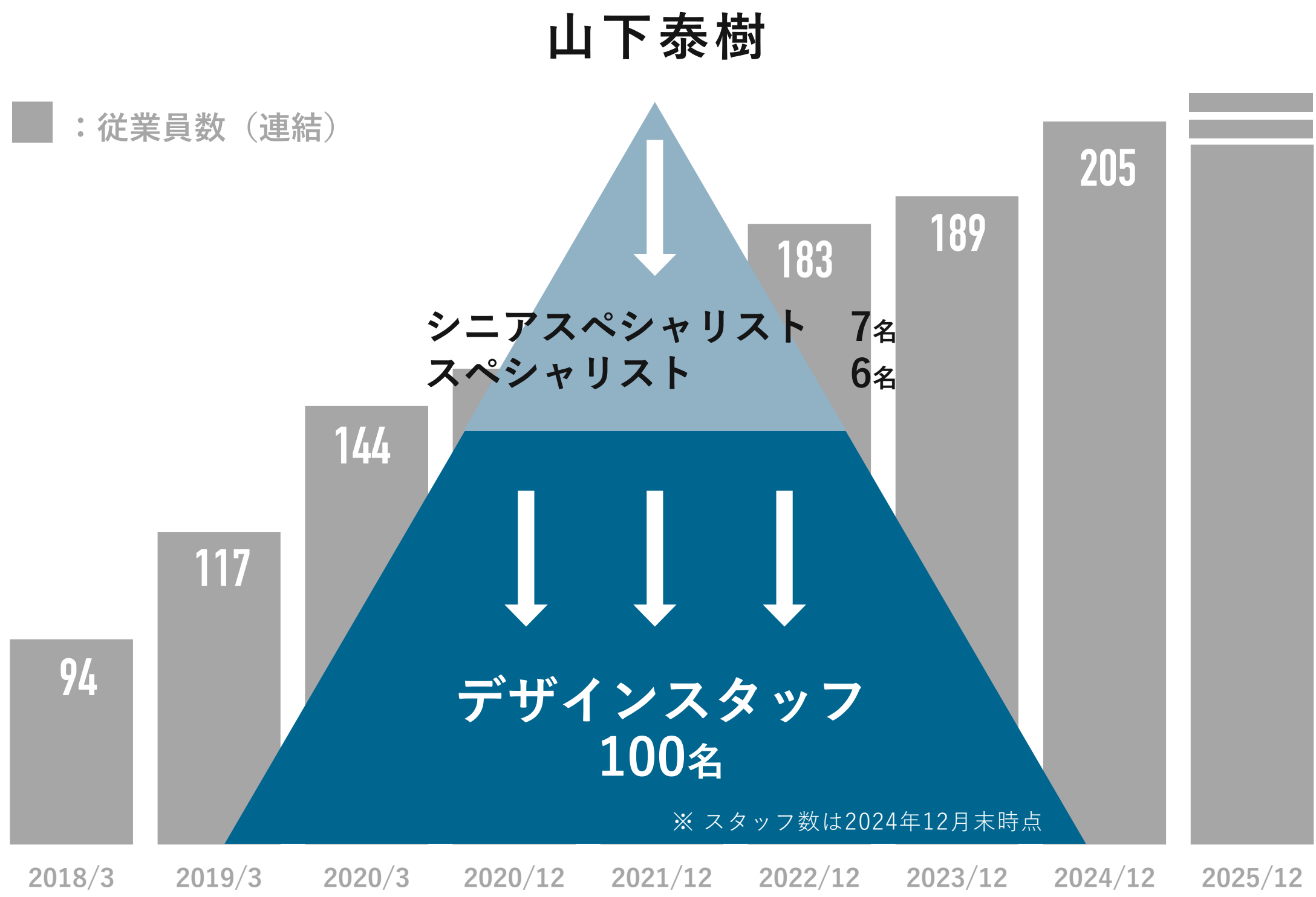
山下泰樹が手掛ける別荘とホテルのハイブリッド滞在施設
「UMITO」の奄美大島プロジェクトが進行中



競争優位性

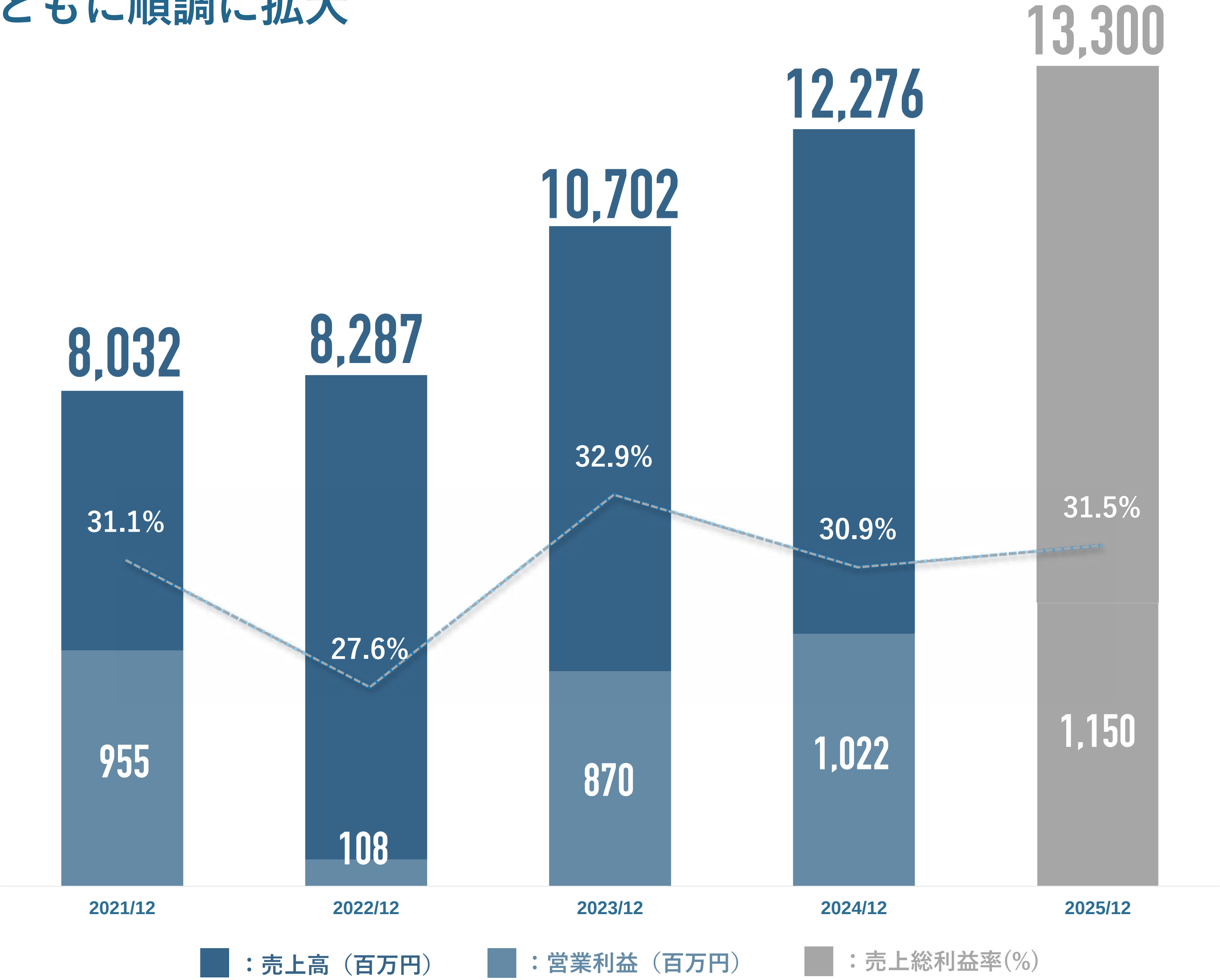
最先端のデザインとノウハウを体系化し継承する、強い組織モデル

DRAFTは創業者山下泰樹がデザイナーとして牽引してきたデザイナー集団です。
山下泰樹がリードする先端的プロジェクトの知見・ノウハウは、体系化を行いプロセスの改善を通じて組織に蓄積されています。
グループの約7割を占めるデザイン関連組織スタッフが実践しプロジェクトに取り
組むことで、デザインのノウハウを組織として継承しています。



■ 直近の業績推移

売上・営業利益ともに順調に拡大

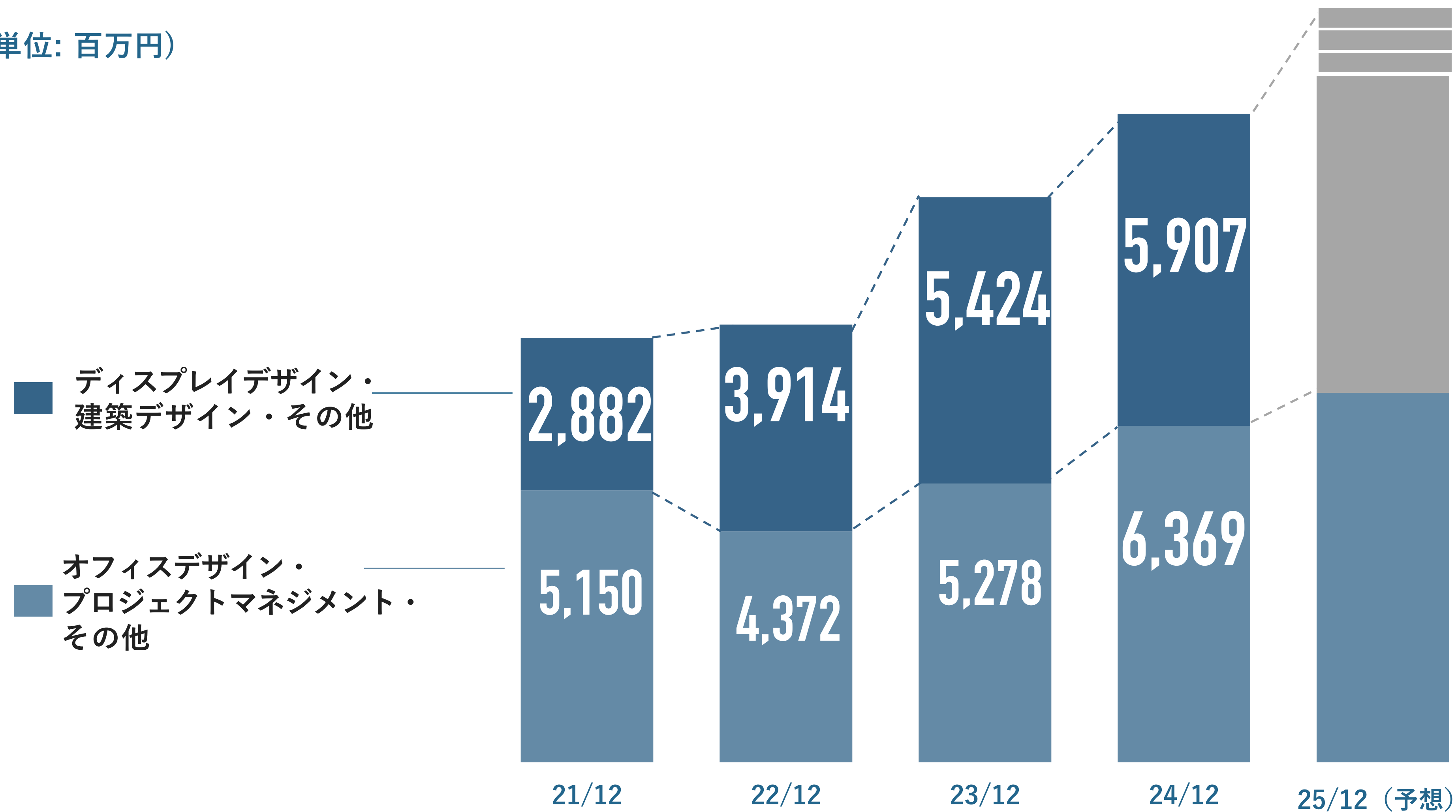


領域別売上高

両領域とも順調に増収。

特に「ディスプレイデザイン・建築デザイン・その他」領域は2021年12月期から倍以上に拡大し、DRAFTの活動はより多領域に。

(単位: 百万円)



領域別売上高 事例

ディスプレイデザイン・建築デザイン・その他



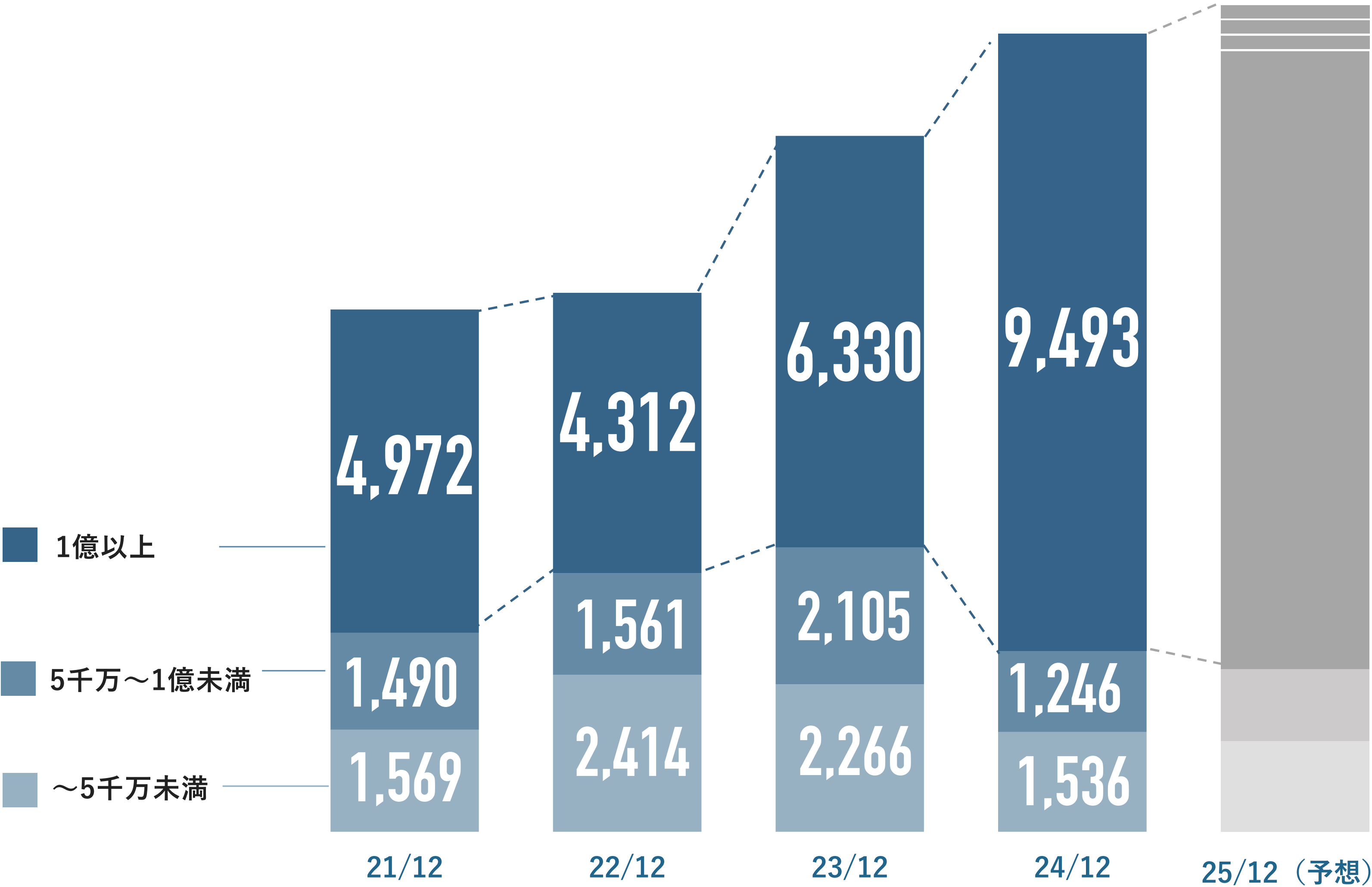
オフィスデザイン・プロジェクトマネジメント・その他



■ 規模別売上高

前年同期と比べて、売上高1億円以上のプロジェクトが約50%増、案件の大型化が益々顕著に。

(単位: 百万円)



目標とする経営指標

2026年12月期

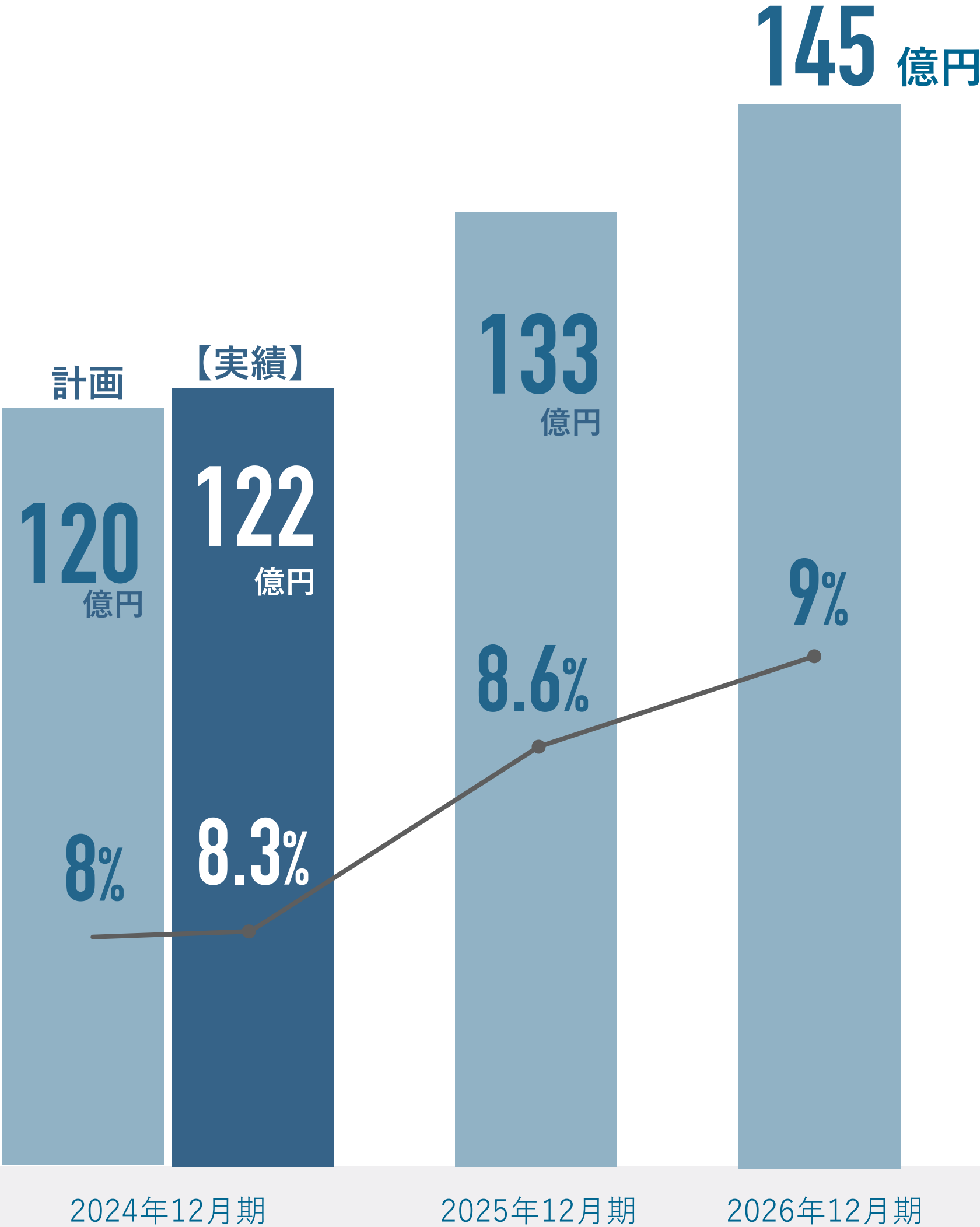
売上高目標

145 億円

営業利益率目標

9%

案件の大型化に伴い、中期経営計画期間中の成長は変動幅が大きくなることが想定されます。このため、中期経営計画最終年度の売上高及び営業利益率を目標として設定し、事業を展開いたします。



目標とする経営指標

2026年12月期

時価総額目標

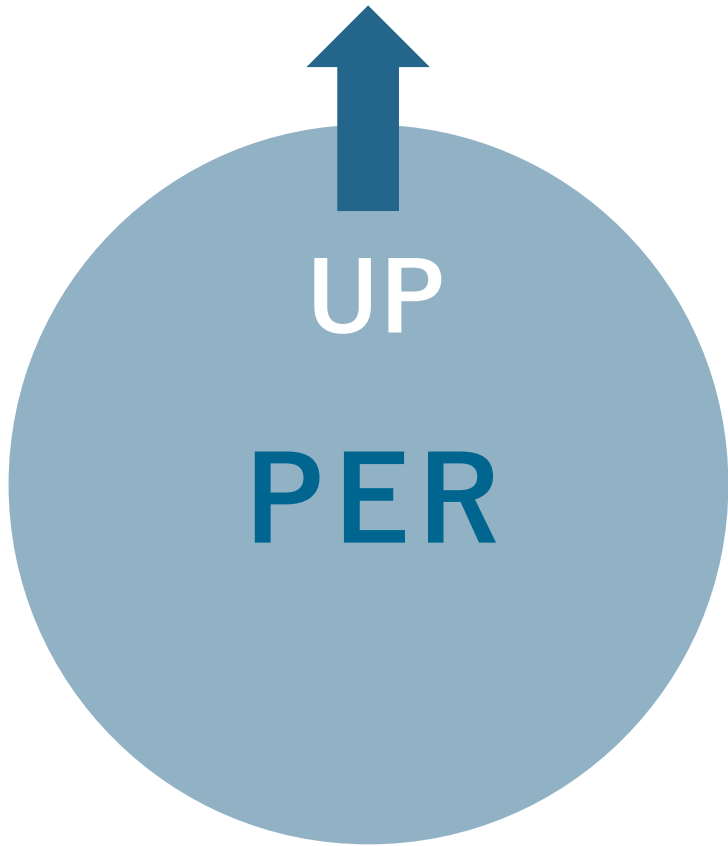
150 億円



=



×



2025年2月25日の状況

時価総額 : 55億円
株価 : 550 円
PER : 8.54倍

03

FINANCIAL RESULTS & FORECAST

業績 & 見通し

■ 通期業績ハイライト

- ・売上高は当社グループのデザインに対する根強い需要に加えて、デザイン会社としてのプロジェクトの大型化も重なり、大きく伸長。販管費は人員増及び昇給等に伴い人件費を中心に増加したものの、売上高の伸びを下回り、営業利益も大幅な増益。結果、各段階利益はいずれも伸長し、売上高、利益ともに過去最高に。
- ・ 2025年12月期は中計最終年度（2026年12月期）の売上高目標に向けた準備の年となり、グループの事業運営体制の強化、プロポーザルプロジェクトの本格展開等を計画。販管費については、前年比の伸びを抑制しつつも、事業運営体制を強化するための組織再編及び人員の増強等を行う。

前年同期比		23年12月期	24年12月期	前年同期比	25年12月期 通期予想
(百万円)					
売上高	10,702	12,276	+14.7%	13,300	
営業利益	870	1,022	+17.5%	1,150	
経常利益	848	1,017	+19.9%	1,110	
親会社株主に帰属する 当期純利益	516	646	+25.2%	670	

2025 DRAFT All rights reserved.

A modern office interior featuring a long, light-colored communal table with dark wooden chairs. The ceiling has exposed blue-painted pipes and several spherical pendant lights. In the background, there are glass-walled meeting rooms and a large potted plant. The overall atmosphere is bright and contemporary.

04 SHAREHOLDERS RETURN

株主還元

株主還元策

過去最高益を達成したことを機に、2024年12月期の期末配当金を7.0円(10月25日公表数値)から12.0円に修正。
配当政策については、将来の事業展開と経営体質強化のため、必要な内部留保を確保しながら、累進配当（※）の継続的な実施を基本方針とし、可能な限り毎期の増配を目指す。

配当予想

	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たりの 当期純利益	1株当たりの 配当金(期末)
2024年 12月期 (予定)	646百万円	64.33円	12.0円
2025年 12月期 (予想)	670百万円	66.71円	14.0円

※ 原則として減配せず、配当の維持もしくは増配を行う配当政策

株主還元策

株主優待

100株以上

1,000円分の当社デザインQUOカード

1,000株以上

2,000円分の当社デザインQUOカード



2021年12月期



2022年12月期



2023年12月期

Coming soon...

2024年12月期

05

CORPORATE GOVERNANCE

コーポレート・ガバナンス

■ 2024年以降の経営体制

当期より2人の代表取締役が連携して
更なるクリエイティビティの推進とガバナンス強化を実現します。

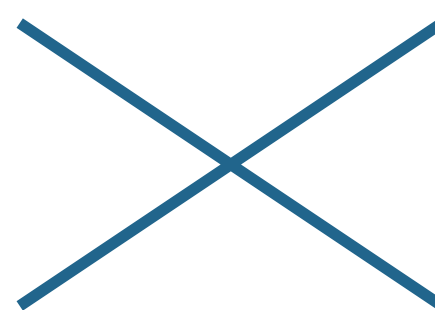


山下泰樹

代表取締役

創業者 代表執行役員

トップデザイナーによる
クリエイティブ推進での
業績拡大



荒浪昌彦

代表取締役

リスク管理及び
ガバナンス強化
株主・投資家との対話



結城大輔

取締役*



平田 満

取締役* 常勤(監)



大村尚子

取締役*(監)



三代まり子

取締役*(監)

*… 社外役員 (監)… 監査等委員

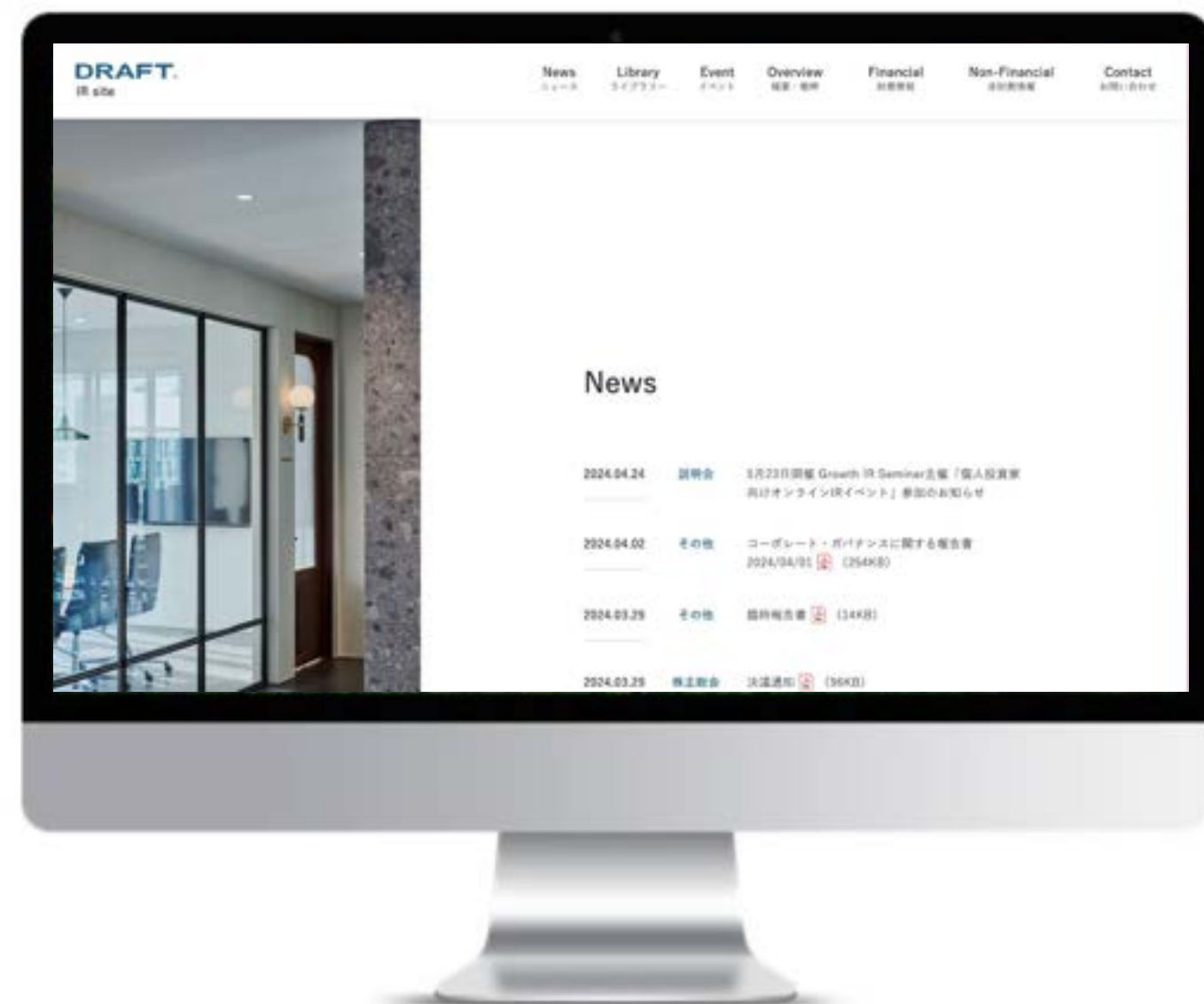
06

IR SITE

IRサイト

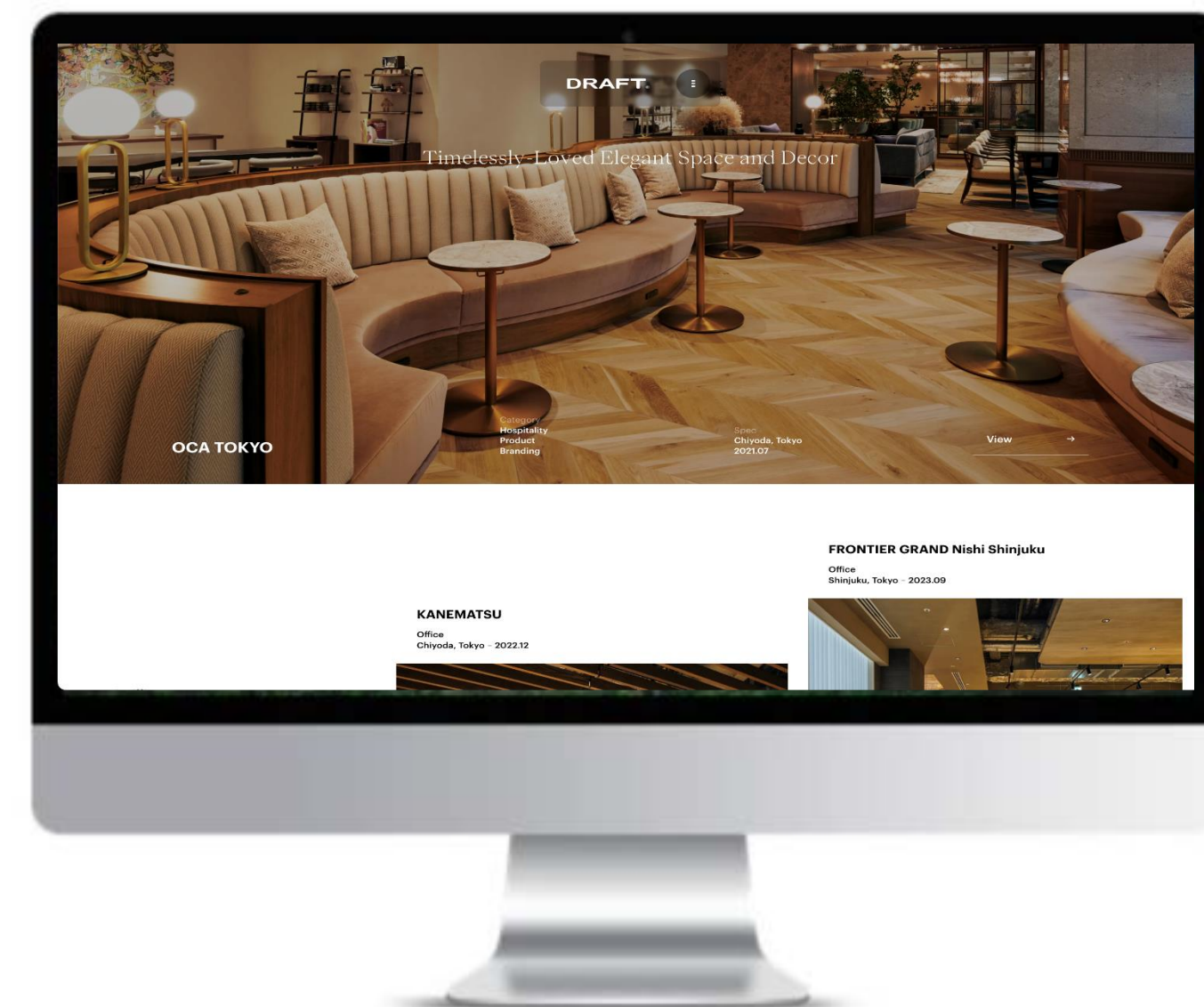
■ Webサイト

IR専用サイト



<https://ir.draft.co.jp> 

コーポレートサイト



<https://draft.co.jp> 

DRAFT[®]